

授業概要

科目名		高次脳機能障害 I				授業の種類	演習	講師名				
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	ST1年	後期
【授業の目的・ねらい】 失認・失行・視空間障害等について学び、高次脳機能障害がどのように起こるのか理解する。												
【実務者経験】 言語聴覚士として倉敷市立病院に勤務、高次脳機能障害のリハビリテーションに従事経験。												
【授業全体の内容の概要】 高次大脳機能障害に関する知識を習得し、検査、評価法を学び、リハビリテーションについて理解を深める。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 高次大脳機能障害の概要を把握、理解し、臨床場面での適切な検査・評価等を実施するための基礎を習得する。												
回数	講義内容										準備物(教材)	
1	高次脳機能障害基本概念、脳のはたらき、脳機能的領域、側性化											
2	意識障害、注意障害											
3	視知覚障害、視覚認知障害											
4	半側空間無視、地誌的見当識障害											
5	バリエーション症候群、構成障害											
6	失認											
7	失行											
8	記憶障害											
9	前頭葉機能障害											
10	認知症											
11	検査演習(注意障害、前頭葉機能障害、認知症など)											
12	失算、脳梁離断症状											
13	脳外傷、ALSの高次脳機能障害											
14	まとめ、確認テスト											
15	テスト振り返り、過去問出題例											
	定期筆記試験											
【使用教科書・教材・参考書】 『標準言語聴覚障害学 高次脳機能障害学 第3版』 医学書院												
【準備学習・時間外学習】 授業で行う内容の予習・復習をおこなってください。												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。												